

平成 28 年 6 月 30 日

統計データの新たな提供方法（統計 LOD）の開始について

独立行政法人統計センターは、総務省統計局と連携し、国勢調査や経済センサスなど 7 統計の一部の統計データについて、LOD 形式の統計データ（以下「統計 LOD」という。）の作成を行い、本日から政府統計の総合窓口（e-Stat）で提供を開始しました。

（掲載先）e-Stat 統計 LOD：<http://data.e-stat.go.jp>

統計 LOD の作成に当たっては、国際連携を図るため、イタリア国家統計局、欧州連合統計局などの先進事例を参考とするとともに、国際的に標準化された技術を基に設計を行っています。

今回提供する統計 LOD は、データを構成する要素が約 3 億個であり、世界の各機関で提供している LOD と比べてもトップレベルの情報量となります。

（参考：イタリア国家統計局：約 4000 万個、アイルランド統計局：約 2000 万個、欧州連合統計局：約 80 万個、DBpedia Japanese：約 1 億個）

統計 LOD は、データの属性情報（構造、意味など）が明確かつ統一されていることに加え、データ形式も標準化されているため、データの検索や取得が容易になり、データ取得後の処理も効率的に実現できます。

今後は、統計 LOD の利用者から意見を伺い、課題等を整理・検討した上で、統計 LOD の充実や利用ガイドの提供等を行う予定です。

LOD (Linked Open Data)：誰でも利用可能な全てのデータ同士がリンクしたデータ。星の多さでオープンデータの公開レベルを示す 5 スターオープンデータの考え方で、最上級のデータ形式と位置付けられている。

（参考資料）

総務省報道資料

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01toukei09_01000016.html

（連絡先）

共同利用システム課

担当：西村統括統計職、飯塚係長

直通 03-5273-1359

FAX 03-3202-1158